

令和 4 年 6 月 8 日現在

機関番号：15301

研究種目：基盤研究(A)（海外学術調査）

研究期間：2017～2020

課題番号：17H01650

研究課題名（和文）テオティワカン「石柱の広場」複合体の発掘調査

研究課題名（英文）Archaeological Research of the Plaza of the Columns Complex at Teotihuacan

研究代表者

杉山 三郎（Sugiyama, Saburo）

岡山大学・文明動態学研究所・特任教授

研究者番号：40315867

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 32,600,000円

研究成果の概要（和文）：テオティワカンはメキシコ中央高原に栄えた新世界最大級の古代都市である。我々のモニュメントにおける先行研究により明らかになった国家の象徴体系、儀礼、他文化圏との交流などの資料をベースに、「石柱の広場」の発掘では国家政体、都市中心部の公共施設では誰が、何をを行っていたかを探求した。広範囲におけるピット、トレンチ発掘により、中央広場、モニュメント、儀礼場周辺の機能的空間の豊富なデータを得ることができた。公共施設における頻繁な増築史、それぞれの時代のアート製品や儀礼品を得て、特にモニュメントの裏側の資料では、遠隔地マヤの王族が来てマヤ壁画を描き、一方で大規模な生贄儀礼が行われていたと実証できた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は人類史において、都市の発祥メカニズムとそれに関わるヒトの特性について探求し、さらにテオティワカンの場合、誰が、どのように計画都市を創出し、また実際に何を行っていたかを探った。都市の心臓部にある儀礼-宮殿タイプの「石柱の広場」の本発掘により、国家施設として3番目に大きな儀礼空間であったこと、アステカ時代に有名な生贄儀礼がさらに1千年以上も遡り大規模に行われていたこと、そして国際的な集会、大祝宴が国家事業として行われていたことが解ってきた。トップレベルでの知識の交流とそれぞれの国家の特産物の交易が、都市の政治体制・社会構造をさらに複雑化したと傍証された。現代の都市機能がすでに存在していた。

研究成果の概要（英文）：Teotihuacan was one of the largest ancient cities in the New World, that flourished in the Mexican highlands around 1st to 6th century AD. Based on the data of the state's symbolism, rituals, or interactions with other cultural areas that we uncovered by previous investigations at the monuments, we intended to further explore the state polity, who and what were executed at the public buildings in the city's core area. Consequently, we gathered rich data on functional space at the main plaza, monuments, or around the ritual complexes through pit/trench excavations. We obtained information about frequent enlargement programs of the public facilities, artistic and ritual objects, and uncovered that the Maya royal families from distant areas painted their own murals, and that a large scale rituals were taken place, according the data gathered behind the monuments.

研究分野：新大陸考古学

キーワード：テオティワカン メソアメリカ 新大陸考古学 古代都市文明 メキシコ古代史

### 1. 研究開始当初の背景

テオティワカン考古学の大きな課題は、計画都市の中心部がどのような機能を持って国家が運営されていたのか、まだ王族はどこに住み、どこに埋葬されていたのか、未解決なことである。一部のアパートメント式住居や 3 大モニュメントは発掘調査されてきたが、国家の中核の機能を果たしていたと思われる「死者の大通り」両側の広大な群は、内部まで十分な調査がされていなかった。そのような中心的施設のひとつである「石柱の広場」は、先行研究により予備的な発掘が行われ、大きな宮殿タイプの儀式用施設と住居の建築複合体であると想定できるようになった。本研究はすでに詳細な研究計画書をメキシコ政府の考古学審議会にも提出し、認可されている。

2. 研究の目的 本研究では、2013 年以前には全く未発掘であった「石柱の広場」において、大規模なトレンチ発掘、トンネル調査により、本公共施設がテオティワカン国家の中核施設のひとつであったことを指摘し、その機能を探る。積極的に深層部(早期)まで深掘りし、そこで行われた儀礼や国家の業務、また住民の同定に役立つ資料を得ることを目的とする。

テオティワカンで未解明の中心的な課題「古代都市の発祥」、「計画都市の象徴的な意味」、「政治組織/階層社会の形成プロセス」、「テオティワカン国家像」についての新しい資料を得て、実証的な新解釈を構築することを目指す。また「死者の大通り」を挟んで「石柱の広場」の東に建設された「太陽のピラミッド北の広場」にも、その東西、南北軸上に小規模なトレンチ発掘を行い、この建築複合体の機能と「太陽のピラミッド」との関連性を探求する。(図 1)

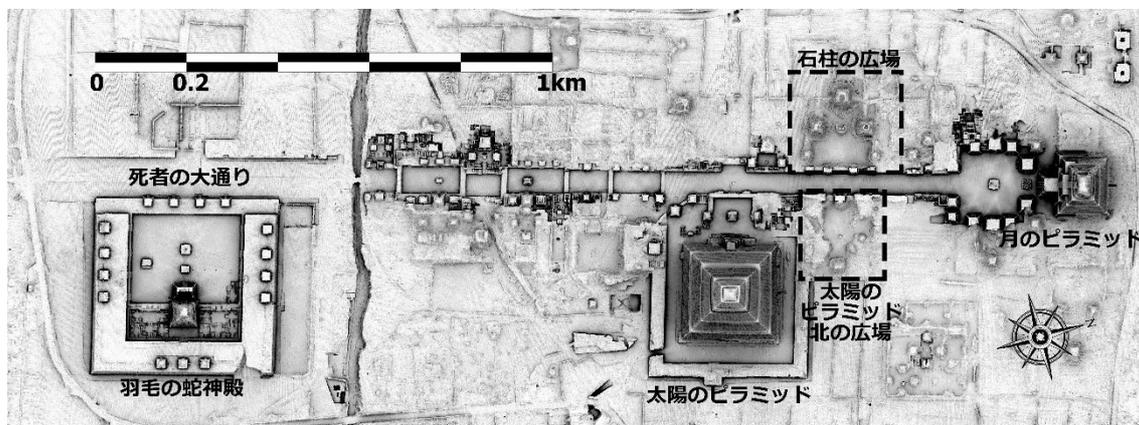


図 1 . テオティワカンの中心地区平面図 (LiDAR Map by the Plaza of the Columns Project)

### 3. 研究の方法

平成 25-28 年度の基盤 A (海外) の発掘プロジェクトを継続発展させ、メキシコ政府研究所やアメリカの他大学との本格的な国際研究プロジェクトとして、最大規模の国家施設「石柱の広場」の総合的発掘調査を先導する。担当する研究機関により発掘区域を区分して、機能的な関係を保ちながら独立して行う計画である。LiDAR による 3 次元測量図をもとに発掘計画、また遺構や遺物の記録を行い、必要な修復作業を完了した後、遺構は保存のため最終的に元の状態に埋め戻す計画である。

遺物(土器、土偶、黒曜石、石彫、人骨、動物骨、動植物破片など)の整理・分析と年代測定サンプリングなどは、テオティワカンの遺跡公園内にある研究施設と、遺跡近郊のアリゾナ州立大学の考古学研究センターにて行う予定である。研究分担者の佐藤がテオティワカンにて土器の分析、また植田、水野が DNA 分析用のサンプリングを、平成 30 年度夏以降にテオティワカンにて行う予定であったが、Covid-19 パンデミックの影響で渡航が難しくなり、手持ちのサンプルの再解析、再解釈などで対応した。

### 4. 研究成果

トレンチとトンネル発掘調査を日本研究チームが担当する B 地区と F 地区で進め、その後の遺物分析を継続して行い、具体的な年代を示す資料と共に広大な建築複合体の機能、それぞれの改築・増築史を部分的ながら把握することができた。(図 2)

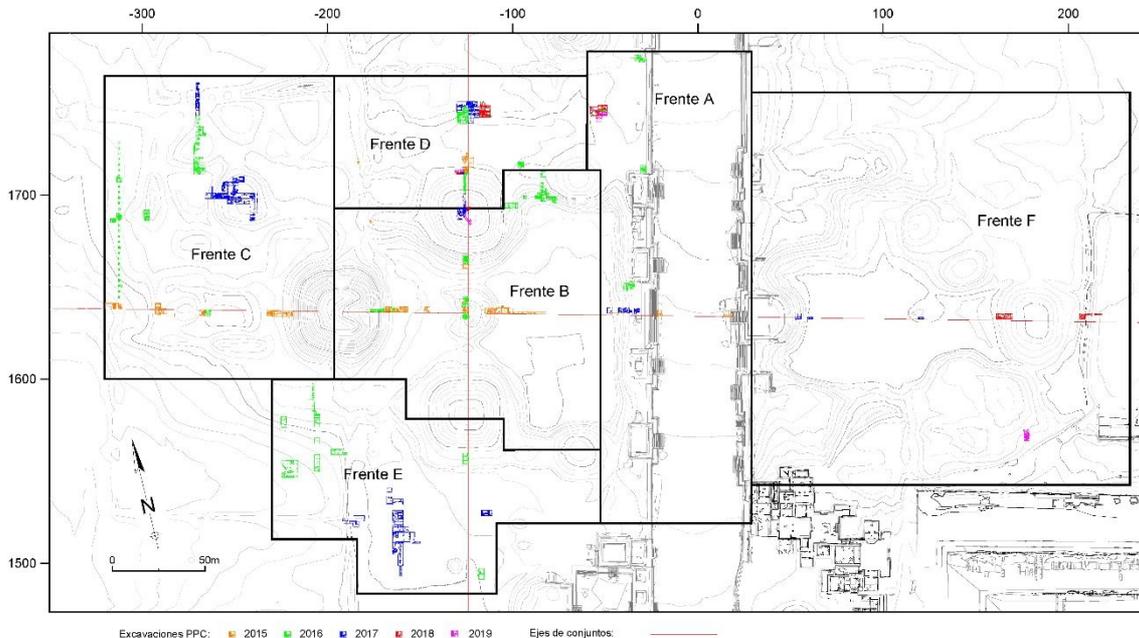


図2 「石柱の広場」複合体の平面図。日本班は発掘区 B と F, 2019 年度からは B, D, F 区を担当した。

(1) 「石柱の広場」複合体の中心広場は層位が浅く、床上に遺物はほとんど検出されなかった。しかし東西中心軸付近には床面直上に石彫や壁の跡が検出され、一貫した儀礼空間の残骸と理解できる。東西軸上にある祭壇では複雑な増築跡、大柱穴、壁画跡などが見られ、早期から儀礼場として機能していたことが窺える。

(2) 中央広場西に位置する中央マウンドでは大規模の盗掘跡が確認された。また Teotihuacan Mapping Project が解釈する前庭部は本マウンドにはなく、盗掘時に出土した盛土を誤解釈したと考えられる。中央部に階段が確認され、さらに内部に向けて 5 メートルだけトンネル発掘したが、内部から早期の建造物は発見されなかった。

(3) 「石柱の広場」北の大マウンド (Structure 25C) は前面 (南面) の破損が激しくそこからのトンネル調査が危険なため、マウンドの裏側 (北面) からトンネル発掘を行い、さらに古い時代の施設の存在をその中心付近で確認した。ピラミッド形式でない建造物であり、「石柱の広場」が作られる前時期に属するプラットフォーム形式の儀礼、または神殿の基壇と考えられる。

(4) 上記のトンネル発掘により出土した早期の基壇では、それが放棄されるときに中心軸上に奉納セットが埋葬されたことが確認できた。ワシとクモザルが、緑石の装飾品、黒曜石、貝製品など大量の象徴品と共に奉納され、それらを埋め込むように現在見られる「石柱の広場」北のモニュメントが造られている。クモザルはメキシコ中央高原に生息せず、千キロ以上離れたマヤなど亜熱帯地域から生きて持ち込まれたと考えられる。

(5) 同じトンネル発掘では、「石柱の広場」北のモニュメントの北壁に接して数万点の土器の廃棄場が発見された。層位から、恐らく「石柱の広場」完成直前に行われた儀礼に使われた土器を意図的に破壊し、食料と共に新しい床下に埋め込んだと思われる。国家行事が行われたであろう大広場のモニュメント裏側が、儀礼のための準備、また儀礼終了後の遺物を廃棄するために使われていたと示唆する。廃棄場の区域はさらに西に広がっており、Covid-19 で一時中断した発掘を終了後、土器など儀礼用品や食料の残骸の総合分析を進める予定で、具体的な祝宴、国家行事の復元に貴重なデータを与えると期待している。

(6) 上記のトンネル発掘の東 70 メートル付近 (A 地区) では、生贄にされたと思われる大量の犠牲者の人骨が発見された。同トンネルの北 20 メートル付近 (D 地区) では、2016 年度からマヤ形式の壁画破片が大量に発見されており、パンデミックで中断後、2021 年度までマヤ壁画片の調査が続いている。これらのデータは、テオティワカンの大広場が、生贄儀礼など国家行事を執行する聖空間であったと傍証している。同時に生贄の人骨分析や土器の図像、またマヤの壁画は、テオティワカンの国家行事に遠隔地に住むマヤやサポテカ族なども参加したと物証しており、メソアメリカの広領域に及ぶ相互交流がテオティワカンの儀礼にすでに遅くても紀元後 4 世紀には組み込まれていたと物語っている。

今後の発掘調査や遺物分析などの成果は、他の専門家や学生、また一般人にもアクセスできるよう、2018年から2か国語の「石柱の広場」プロジェクトのウェブサイトを開き、さらに、2019年の3月には日本語サイトの一部も開設した。

英語サイト <http://ppcteotihuacan.org/en/home/?lang=en>

スペイン語サイト <http://ppcteotihuacan.org/es/pagina-de-inicio/>

日本語サイト [http://db.csri.for.aichi-pu.ac.jp/plaza\\_of\\_columns\\_complex\\_jp/](http://db.csri.for.aichi-pu.ac.jp/plaza_of_columns_complex_jp/)

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計8件（うち査読付論文 7件/うち国際共著 5件/うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 Sugiyama, Nawa, Sugiyama S, Catignani T, Chase ASZ, Fernandez-Diaz JC	4. 巻 16(9): e0257550
2. 論文標題 Humans as geomorphic agents: Lidar detection of the past, present and future of the Teotihuacan Valley, Mexico	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0257550	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 杉山奈和、杉山三郎	4. 巻 Feb. 2021 Vol. 91 No. 2
2. 論文標題 メソアメリカの共生する ヒトと動物たち 新たな「ドメスティケーション」パラダイムへ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 科学(岩波)	6. 最初と最後の頁 193-199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Gonzalez, G. Perez-Ireta, M.A. Garcia-Bucio, I. Rangel-Chavez, V. Aguilar-Melo, O.G. de Lucio, J.L. Ruvalcaba-Sil, N. Sugiyama, and S. Sugiyama	4. 巻 VOL. 35, NO. 13
2. 論文標題 Material study of green stone artifacts from a Teotihuacan complex	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Materials and Manufacturing Processes	6. 最初と最後の頁 1431 1445
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/10426914.2020.1743855	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Sugiyama, Nawa, Sugiyama Saburo, Sarabia G. Alejandro	4. 巻 29
2. 論文標題 REVISITING SUN PYRAMID CERAMIC AND RADIOCARBON DATES FROM TEOTIHUACAN: COMMENT ON SLOAD	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Latin American Antiquity	6. 最初と最後の頁 398 ~ 400
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/laq.2017.68	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 佐藤悦夫	4. 巻 第11巻第2号
2. 論文標題 メキシコ、テオティワカン遺跡の土器研究の歴史と今後の課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 富山国際大学 現代社会学部紀要	6. 最初と最後の頁 7-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fuzuki Mizuno, Masahiko Kumagai, Kunihiko Kurosaki, Michiko Hayashi, Saburo Sugiyama, Shintaroh Ueda and Li Wang	4. 巻 62
2. 論文標題 Imputation approach for deducing a complete mitogenome sequence from low-depth-coverage next-generation sequencing data: application to ancient remains from the Moon Pyramid, Mexico	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Human Genetics	6. 最初と最後の頁 631-635
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/jhg.2017.14.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fuzuki Mizuno, Li Wang, Saburo Sugiyama, Kunihiko Kurosaki, Julio Granados, Celta Gomez-Trejo, Victor Acuna-Alonzo, and Shintaroh Ueda	4. 巻 44
2. 論文標題 Characterization of complete mitochondrial genomes of indigenous Mayans in Mexico.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Annals of Human Biology	6. 最初と最後の頁 652-658
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 井関陸美	4. 巻 532
2. 論文標題 古典ナワトル語の「水と火」のシンボリズムに関する小考察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 明治大学教養論集	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計28件（うち招待講演 17件 / うち国際学会 18件）

1. 発表者名 De Anda Rogel, Michelle, Saburo Sugiyama and Leonardo Lopez Lujan
2. 発表標題 Hands (and Hearts) on the Job: New Models for the Urban Reconstruction of Tenochtitlan
3. 学会等名 Tenochtitlan: Imperial Ideologies on Display (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Sugiyama, Saburo
2. 発表標題 El Gobierno Teotihuacano Interactuando con los Elites Mayas: Una Vista desde las Entranas de la Ciudad de Teotihuacan
3. 学会等名 Cuarta simposio internacional sobre los antiguos mayas en Japon: Teotihuacan y Maya (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Saburo Sugiyama, Nawa Sugiyama, Kazuhiro Sekiguchi, Kuninori Iwashiro
2. 発表標題 A New Approach for the Cognition of Time, Space, and Rulership in the Cosmic City of Teotihuacan
3. 学会等名 87th Annual Meeting of the Society for American Archaeology (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Saburo Sugiyama
2. 発表標題 Monuments, Elite Burials, Arts, and Rituals as Social Memories in Comparative Contexts
3. 学会等名 Out of Eurasia, International Academic Meetings in Mexico (国際学会)
4. 発表年 2020年

1 . 発表者名 Saburo Sugiyama
2 . 発表標題 Introduccion Arqueologia Cognitiva: Monumentos, Arte y Urbanismo en Mesoamerica
3 . 学会等名 Foro de Arqueologia Cognitiva: Monumentos , Arte , y Cuerpo Humano afuera de Eurasia ( 国際学会 )
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Sugiyama, Saburo
2 . 発表標題 Descubrimientos Recientes en Teotihuacan: Excavaciones en la Plaza de las Columnas (Parte 1)
3 . 学会等名 Conferencias “ La arqueologia hoy ” en el Colegio Nacional, Ciudad de Mexico ( 招待講演 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Sugiyama, Saburo
2 . 発表標題 Ultimas Perspectivas de la Antigua Ciudad de Teotihuacan y el Proyecto Complejo Plaza de las Columnas
3 . 学会等名 Conferencia en la Escuela de Manuel Gamio, Zona Arqueologica Teotihuacan ( 招待講演 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Sugiyama, Saburo
2 . 発表標題 Ultimas Perspectivas de la Antigua Ciudad de Teotihuacan y el Proyecto Complejo Plaza de las Columnas
3 . 学会等名 Conferencia en el Auditorio Alfonso Caso, Museo de las Culturas de Oaxaca ( 招待講演 )
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Sugiyama, Saburo
2. 発表標題 Introduccion Arqueologia Cognitiva: Monumentos, Arte y Urbanismo en Mesoamerica
3. 学会等名 Foro de Arqueologia Cognitiva: Monumentos, Arte, y Cuerpo Humano, afuera de Eurasia, en el Templo Mayor Museum (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤悦夫
2. 発表標題 メキシコ、テオティワカン遺跡“月のピラミッド”出土のパトラチケ期の土器
3. 学会等名 出ユーラシアの統合的人類史学～第2回全体会議
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 杉山三郎
2. 発表標題 メソアメリカのモニュメント/エリート埋葬墓と階層社会の形成：研究の展望と目的
3. 学会等名 出ユーラシアの統合的人類史学～第2回全体会議
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sugiyama, Nawa, Saburo Sugiyama, Adrian Chase, Tanya Catignani, and Taylor Gibson
2. 発表標題 Methods of LiDAR Mapping in Urban Landscapes: Introducing the Teotihuacan LiDAR Map
3. 学会等名 83rd Annual Meetings of the Society for American Archaeology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sugiyama, Saburo
2. 発表標題 Cosmic Monuments, Arts, and Polity at Teotihuacan, Mexico Teotihuacan
3. 学会等名 Teotihuacan: City of Water, City of Fire, at Phoenix Art Museum (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sugiyama, Saburo
2. 発表標題 Cosmic Monuments and Polity Sacralized at Teotihuacan
3. 学会等名 City as Cosmos: Art and Archaeology at Teotihuacan , at Los Angeles County Museum of Arts (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 杉山三郎
2. 発表標題 メソアメリカ文明のピラミッド：象徴する世界観と階層社会の形成
3. 学会等名 国際シンポジウム 「日本の古墳はなぜ巨大なのか？ - 古代モニュメントの比較考古学 - 」 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fash, William, Nawa Sugiyama, Barbara Fash, Mariela Perez Antonio and Alexis Hartford
2. 発表標題 Maya-Teotihuacan Relations Viewed from Front D at the Plaza of the Columns
3. 学会等名 83rd Annual Meetings of the Society for American Archaeology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Saburo Sugiyama
2. 発表標題 Homo Sapiens out of Eurasia: Cognitive Capacities and Artificial Niche Construction Materialized at Teotihuacan, Mexico
3. 学会等名 International Workshop on Comparative Archaeologies of the Bronze Age in the Old World. Center of the Study of Ancient Civilizations at Henan University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Saburo Sugiyama
2. 発表標題 PONENCIA MAGISTRAL: Cosmvision y sistema de gobierno plasmados en el recinto sagrado de Teotihuacan
3. 学会等名 6a mesa redonda Teotihuacan: origenes, auge, colapso y herencia, National Institute of Anthropology and History (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Saburo Sugiyama
2. 発表標題 Perspectives of the State Polity Reflected at the Three Major Monuments in Teotihuacan
3. 学会等名 International Symposium on the Sociopolitical Organization of Teotihuacan, the National Autonomous University of Mexico and the Pennsylvania State University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Saburo Sugiyama
2. 発表標題 Cosmos and Rulership Materialized at the Pyramids of Teotihuacan
3. 学会等名 Teotihuacan: City of Water, City of Fire, at Fine Arts Museums of San Francisco de Young (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nawa Sugiyama, Saburo Sugiyama, Adrian Chase, Tanya Catignani, and Taylor Gibson
2. 発表標題 Methods of LiDAR Mapping in Urban Landscapes: Introducing the Teotihuacan LiDAR Map
3. 学会等名 Symposium “Project Plaza of the Columns Complex” in 83rd Annual Meetings of the Society for American Archaeology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Alejandro Sarabia Gonzalez, Saburo Sugiyama, and Nawa Sugiyama
2. 発表標題 Fundacion y transformacion de la Piramide del Sol, vista desde el interior de los tuneles recién explorados
3. 学会等名 6a mesa redonda Teotihuacan: origenes, auge, colapso y herencia, National Institute of Anthropology and History (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Etsuo Sato, Mariela Perez Antonio, and Saburo Sugiyama
2. 発表標題 Análisis de cerámica de la Piramide de la Luna en Teotihuacan, Mexico
3. 学会等名 6a mesa redonda Teotihuacan: origenes, auge, colapso y herencia, National Institute of Anthropology and History (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nawa Sugiyama, Saburo Sugiyama, Veronica Ortega Cabrera, William L. Fash and David M. Carballo
2. 発表標題 Proyecto Complejo Plaza de las Columnas: investigacion de un conjunto civico-administrativo teotihuacano
3. 学会等名 6a mesa redonda Teotihuacan: origenes, auge, colapso y herencia, National Institute of Anthropology and History (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 水野文月、林美千子、石谷孔司、松下真実、松下孝幸、黒崎久仁彦、王瀝、植田信太郎
2. 発表標題 弥生人のミトコンドリアゲノム解析
3. 学会等名 第71回日本人類学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mizuno Fuzuki, Hayashi Michiko, Ueda Shintaroh, Wang Li, Hasegawa Chika, Yamada Takashi, Kurosaki Kunihiro
2. 発表標題 Prospects for forensic DNA phenotyping using highly degraded DNA samples
3. 学会等名 24th Congress of the International Academy of Legal Medicine (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井関睦美
2. 発表標題 Simbolizacion de "Guerra" en la sociedad Mexica en epocas prehispanicas
3. 学会等名 日本ラテンアメリカ学会第39回定期大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井関睦美
2. 発表標題 民族史の記録とその意味 - アステカの事例を中心に -
3. 学会等名 古代アメリカ学会第9回東日本部会研究懇談会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計14件

1. 著者名 (editors) M. Love and J. Guernsey, (authors) Saburo Sugiyama, et al.	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Cambridge University Press	5. 総ページ数 316
3. 書名 Early Mesoamerican Cities: New Perspectives on Urbanism and Urbanization in the Formative Period	

1. 著者名 edited by Julia A. Hendon, Lisa Overholtzer, and Rosemary A. Joyce. authored by S. Sugiyama, et al.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Wiley Blackwell	5. 総ページ数 368
3. 書名 Mesoamerican Archaeology: Theory and Practice	

1. 著者名 Edited by N. Matsumoto, S. Sugiyama, and C. Garcia-Des Lauriers	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Okayama University	5. 総ページ数 322
3. 書名 Landscape, monuments, arts, and rituals out of Eurasia in bio-cultural perspectives. Proceedings of an international conference in Mexico, February 27-28, 2020	

1. 著者名 Sugiyama, Saburo, and Nawa Sugiyama	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 689-711
3. 書名 Interactions between Ancient Teotihuacan and the Maya World ( the Maya World )	

1. 著者名 Nawa Sugiyama, Saburo Sugiyama, William L. Fash, and Barbara Fash	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Dumbarton Oaks Research Library and Collection	5. 総ページ数 139-172
3. 書名 The Maya at Teotihuacan? New insights into Teotihuacan-Maya interactions from Plaza of the Columns Complex (Teotihuacan: The World Beyond the City)	

1. 著者名 杉山三郎	4. 発行年 2020年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 70-91
3. 書名 古代メソアメリカのモニュメント 象徴する世界観と王権 (日本の古墳はなぜ巨大なのか 古代モニュメントの比較考古学)	

1. 著者名 Nawa Sugiyama, Saburo Sugiyama, Veronica Ortega, and William L. Fash	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archivo Tecnico del Instituto Nacional de Antropologia e Historia	5. 総ページ数 500
3. 書名 Proyecto Complejo Plaza de las Columnas, Teotihuacan: Informe parcial de la Quinta Temporada (2019)	

1. 著者名 Kenneth G. Hirth, David M. Carballo, and Barbara Arroyo (editors), Saburo Sugiyama (author)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Dumbarton Oaks Research Library and Collection	5. 総ページ数 528
3. 書名 Teotihuacan: The World Beyond the City	

1. 著者名 山本 紀夫 (編集者)、杉山三郎 (著者)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 448
3. 書名 熱帯高地の世界	

1. 著者名 Scott R. Hutson, Traci Ardren (editors), Saburo Sugiyama (author)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 888
3. 書名 The Maya World	

1. 著者名 Sugiyama, Saburo, Nawa Sugiyama, Veronica Ortega, David Carballo, and William L. Fash	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Archive of the National Institute of Anthropology and History, Mexico	5. 総ページ数 572
3. 書名 Proyecto Complejo Plaza de las Columnas, Teotihuacan: Informe Parcial de la Tercera Temporada (2017)	

1. 著者名 奈良 由美子、稲村 哲也編。杉山三郎、他共著	4. 発行年 2018年
2. 出版社 放送大学教育振興会;NHK出版	5. 総ページ数 332
3. 書名 レジリエンスの諸相 : 人類史的視点からの挑戦	

1. 著者名 Matthew H. Robb, Saburo Sugiyama, et al.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Fine Arts Museums of San Francisco, de Young and University of California Press	5. 総ページ数 444
3. 書名 Teotihuacan; City of Water, City of Fire	

1. 著者名 Nawa Sugiyama, Saburo Sugiyama, Veronica Ortega, David Carballo, and William L. Fash	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Archive of National Institute of Anthropology and History, Mexico	5. 総ページ数 572
3. 書名 Proyecto Complejo Plaza de las Columnas, Teotihuacan: Informe Parcial de la Tercera Temporada (2017)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

Plaza of the Columns Complex: Archaeological P. <a href="http://ppcteotihuacan.org/en/home/?lang=en">http://ppcteotihuacan.org/en/home/?lang=en</a> Complejo Plaza de las Columnas: Archaeological P. <a href="http://ppcteotihuacan.org/es/pagina-de-inicio/">http://ppcteotihuacan.org/es/pagina-de-inicio/</a> 石柱の広場コンプレックス考古学プロジェクト：テオティワカン メキシコ <a href="http://db.csri.for.aichi-pu.ac.jp/plaza_of_columns_complex_jp/">http://db.csri.for.aichi-pu.ac.jp/plaza_of_columns_complex_jp/</a> Plaza of the Columns Complex: Archaeological P. <a href="http://ppcteotihuacan.org/en/home/?lang=en">http://ppcteotihuacan.org/en/home/?lang=en</a> Complejo Plaza de las Columnas: Archaeological P. <a href="http://ppcteotihuacan.org/es/pagina-de-inicio/">http://ppcteotihuacan.org/es/pagina-de-inicio/</a> 石柱の広場コンプレックス考古学プロジェクト：テオティワカン メキシコ <a href="http://db.csri.for.aichi-pu.ac.jp/plaza_of_columns_complex_jp/">http://db.csri.for.aichi-pu.ac.jp/plaza_of_columns_complex_jp/</a> 石柱の広場コンプレックス考古学プロジェクト <a href="http://db.csri.for.aichi-pu.ac.jp/plaza_of_columns_complex_jp/">http://db.csri.for.aichi-pu.ac.jp/plaza_of_columns_complex_jp/</a> Complejo Plaza de las Columnas <a href="http://ppcteotihuacan.org/es/pagina-de-inicio/">http://ppcteotihuacan.org/es/pagina-de-inicio/</a> Plaza of the Columns Complex <a href="http://ppcteotihuacan.org/en/home/">http://ppcteotihuacan.org/en/home/</a>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	植田 信太郎  (Ueda Shintaro)  (20143357)	東京大学・大学院理学系研究科(理学部)・名誉教授     (12601)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	佐藤 悦夫  (Satou Etsuo)  (40235320)	富山国際大学・現代社会学部・教授   (33202)	
研究分担者	水野 文月  (Mizuno Fuzuki)  (50735496)	東邦大学・医学部・助教   (32661)	
研究分担者	井関 睦美  (Izeki Mutsumi)  (50439238)	明治大学・商学部・専任教授   (32682)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
米国	Arizona State University			
メキシコ	National Institute of Anthropology			
米国	University of California, Riverside			
米国	Harvard University			
アメリカ合衆国	ジョージ・メイソン大学	アリゾナ州立大学	ハーバード大学	他1機関